



令和7年度 全国公開研究会Ⅰ

令和8年1月7日(水)

9:25~10:50 教材ポスター発表
11:00~12:30 研究会（音楽）

研究主題

特別支援学校における
音楽の見方・考え方を働かせる授業

教育講演会

重複障害のある子供たちの授業づくり
～学びをつなげ、深い意味理解を促す～

【講 師】

菅野 和彦 先生
文部科学省初等中等教育局 視学官
(併) 特別支援教育課特別支援教育調査官

○お申込みについて○
お申込みは、URLまたは二次元コードから行ってください。
定員50名（先着順）申込締切 1月5日(月) 午後5時
申込URL <https://forms.office.com/r/6wykfS90vM>

公開研Ⅰ申込フォームはこちら



御挨拶

本校では、特別支援学校における音楽の「見方・考え方」を働かせる授業づくりを進めてまいりました。児童・生徒の気付きや表現の広がりを大切にしながら、日々の実践を重ねています。本日の研究会では、音楽の授業実践発表に加え、教職員が工夫を凝らして作成した教材のポスター発表を通じて、児童・生徒の実態に応じた教育の在り方を共有いたします。さらに、文部科学省初等中等教育局 視学官 菅野和彦先生をお迎えし、「重複障害のある子供たちの授業づくり～学びをつなげ、深い意味理解を促す～」をテーマに御講演いただきます。重複障害のある子供たちの学びを深めるための視点や工夫について、貴重なお話を伺えることを大変光栄に思っております。本研究会が、皆様の実践に新たな視点をもたらす機会となれば幸いです。今後とも、児童・生徒のよりよい学びのために、皆様と共に歩んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

東京都立村山特別支援学校
校長 阿部智子



音楽の実践発表について

●本校では、令和5年度から音楽の「共通事項」音楽を形づくっている要素に着目して、授業づくりを進めてきました。音楽の授業においては、それらを適切に選択し関連付けながら、音楽的な「見方・考え方」を働かせる授業を展開してきました。取組を進めることで、児童の「音楽的な要素への気付きと表現の広がり」がみられました。授業実践発表では、授業力向上シリーズNo.13での報告も含めて解説します。



教材ポスター発表について

●本校教員が活用している教材の展示、および教材の使い方やねらいをポスターにまとめ発表します。小学部、中学部、高等部、訪問学級の教員が、児童・生徒の実態や課題に合わせて工夫し作成した教材およそ45点を展示する予定です。発表者は3班に分かれ、各班15分間の発表を行います。教員のプレゼンテーションや教材をじっくりご覧いただけます。



本校の研究について

東京都立村山特別支援学校では、「障害が重い子供の各教科の学び」について、学習指導要領に沿って見直しを実施してきました。見直しのツールとして「村山シラバス」を作成し、その内容を土台として、年間指導計画、日々の授業改善に取り組んできました。令和6年度は国語、体育、令和7年度は算数・数学、生活、音楽、理科、社会と教科を広げながら進めています。

年間を通して、全教職員で「障害の重い子供の各教科の学び」について深め、授業づくりに取り組んでいます。忌憚なき御意見を伺い、さらなる改善に取り組んでいきたいと考え、公開研究会を実施させていただきますので何卒よろしくお願ひいたします。

東京都立村山特別支援学校

〒208-0012 東京都武藏村山市緑が丘1460番地1
☎ 042-564-2781

学校地図はこちら

